

富士と湖の 自然をみつめて

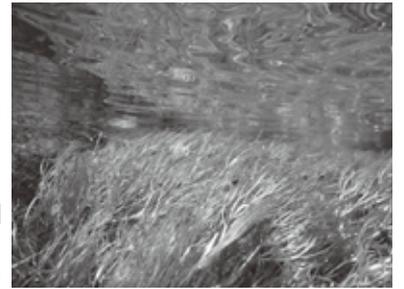
Nature in and around Mount Fuji



富士山生物多様性研究イニシアティブ・プロジェクト無事終了

8月の最終節の3プロジェクトが行われ、今年度予定された12回のプロジェクトが無事終了しました。

6～8日に行われた「湧水と里山環境」のプロジェクトには8名のボランティアが参加して下さり、大きく成長したバイカモの測定とそれに付着している生き物を水中カメラで撮影し、バイカモを住み家としているカワニナや水生昆虫の数が季節で変わることもわかりました。カヤネズミは巣が見つかりませんでしたので、1日目にかけておいた餌台を2日目に確認し、数ヶ所で食べ跡が見られました。最終日は、梨ヶ原にカヤネズミ用の調査地を設置し終了しました。20～22日に行われた「絶滅危惧チョウ類」プロジェクトは、4年目の日立グループのプロジェクトとして9名の社員とアースウォッチ関係者3名の計12名が参加して下さいました。1日目は40℃を超える気温の中、早川沿いの河川敷で400頭を超えるミヤマシジミの幼虫を確認することが出来ました。2日目の午前中は本栖高原で、午後は野尻草原でチョウ類のセンサス(種・個体数)調査を一緒に行って頂き、数種の絶滅危惧種が確認されました。3日目は、梨ヶ原



でミヤマシジミの成虫と幼虫の調査を行っていただき、昨年より多い個体が確認されました。最後の28～30日に行われた「草原と林の鳥」プロジェクトにも7名のボランティアが参加して下さい、さえずりが聞かれない夏の調査をどうするかが課題でしたが、毎月行っているセンサス調査を一緒に行う中で、キビタキも見ることが出来ました。2日目の梨ヶ原のセンサス調査では、オオジシギは見られませんが、周辺ではほとんど見られないホオアカやノビタキなど草原性の鳥の生態を見ることが出来ました。最終日は、本栖高原と野尻草原でセンサス調査を行い、火入れされている梨ヶ原との違いとその大切さがわかったような気がしました。

アースウォッチ・サイエンス・レポート2010で 「富士山周辺の絶滅危惧チョウ類の生態調査」が紹介されました

国際環境NGOアースウォッチのサイエンス・レポート2010が発表され、河口湖フィールドセンター自然共生研究室が2003年から今年までアースウォッチの日本支部から、2007・2008年には本部からも支援いただきながら行っている「富士山周辺の絶滅危惧チョウ類の生態調査」の報告が掲載されました。3ページ目には世界中で行われた100余のプロジェクトの中でも代表的な4つのプロジェクトとして紹介されています(図)。本文は27～29ページに掲載されていて、日本を代表する富士山の里山環境の変化を知り、その保全のための基礎的データを集めるというこの研究の目的から、昨年アメリカの学術誌に掲載された絶滅危惧種ミヤマシジミとクロオオアリの共生関係の内容、更にはミヤマシジミの成虫約1400頭のマーキング調査からわかってきたこと、今後の展望などがまとめられています。

富士山の自然保護のためには、その里山環境の保全が重要で、どこをどのように保全したら良いかを考えるための鍵を握っているのが絶滅危惧のチョウ類という見方から調査研究を行ってきましたが、この方向性は間違いではなかったことを海外から評価されたということで、とてもうれしく思います。アースウォッチのホームページ(http://www.earthwatch.org/downloads/Science_Report_US.pdf)でダウンロードもできます。



ショート・ニュース

- 第3回富士山写真展「富士山の里山～里山の自然がもたらす生物多様性～」を、8月1日～9月30日まで河口湖フィールドセンター研修室で開催し、8月だけで2200人以上の方々に来場いただきました。
- 9月17～20日に岐阜大学で開催された野生生物保護学会・哺乳類学会合同大会で「絶滅危惧種ミヤマシジミのメタ個体群構造について」と題して口頭発表しました。
- 第13回ホタル・オオムラサキ賞作品は9月30日に応募が締め切れ、その入賞作品は11月号広報でお知らせする予定です。

ご意見・ご質問は、TEL 0555-72-4331 (FAX 72-4341) 河口湖フィールドセンターまで

家庭を守る防災対策 Part 44

【一日前プロジェクト】

「もし一日前に戻れたら…」

被災した人は、前もってこうしておけば良かった、あの時こんな風に行動すれば良かったなど、体験した人にしかわからない体験談を持っています。その貴重な話を聞くことができたなら、自分たちが「今」できることを見いだせたり有事の際の参考になり、正しく行動できるのでないでしょうか。

“一日前プロジェクト”とは、地震や水害などの自然災害で被災した方々や災害対応の経験をもつ方々から

「被災直後の行動」

「体験を通じて上手くいったと思うこと」

「もう一度災害が発生したならば、次はどのように行動したい」

「日頃から何を準備しておけばよかった」

といった話を聞かせていただき、そこから導き出される教訓などを小さな物語（エピソード）に取りまとめる活動です。



取りまとめられたエピソードを広く活用・普及させることで、防災・減災への関心や意識を高めることを目的としています。

一日前プロジェクトから生まれた物語は、内閣府のホームページで見ることができます。読んでいただき参考にさせていただきたいと思います。

○内閣府「災害被害を軽減する国民運動のページ」<http://www.bousai.go.jp/km/>

管理課 防災係 TEL 72-6013

高速道路 無料化社会実験 ~ご案内~

期 間 | 平成22年6月28日から平成23年3月31日まで実施します。



無料となるご利用も、有料となるご利用も、通行方法は従来と同じです。
ETC車はETCカードを車載器に挿入 のうえ、ETCレーンをご通行いただき、
現金車等(ETC車以外)は、一般レーンで一旦停止 してください。

	入 口		出 口	
現 金 利 用 者	一般 と表示のあるレーンを通行し、 通行券を受け取り 		一般 と表示のあるレーンを通行し、 ブースで一旦停止して、係員に通行券を渡す 	
	事 前	入 口	出 口	
E T C 利 用 者	ETCカードを 車載器に挿入 ※ETCカードを 挿入しても、無料 化社会実験区間 の料金は課金 されません	ETC専用レーンまたは ETC混在レーンを徐行で通行 	ETC専用レーンまたは ETC混在レーンを徐行で通行 	

注) 社会実験として、効果把握や実験所要額の精算のため、正確な交通データの収集が必要であり、従来どおりの方法での通行をお願いするものです



河口湖スキークラブジュニア会員募集

くお子さんと一緒にスキーを楽しみませんか
対象 小学1年生～中学3年生
練習日 スキーシーズン中の週末
場所 ふじてんスノーリゾートほか
会費 7000円(年間)
活動費 5000円(年間)
 ※保険代、リフト代が別途かかります。
問合せ先 河口湖スキークラブジュニア部
 保護者会長 中村
 TEL 090・2638・3235

県民の日富士吉田会場イベントのお知らせ

日時 10月23日(土)
 午前9時30分～午後3時
場所 富士北麓公園陸上競技場前特設広場
内容 オープニングセレモニー、屋台、
 市町村の特産品販売、フリーマ
 ーケット等
問合せ先 県庁県民生活男女参画課
 県民の日富士吉田会場実行委員会事務局
 TEL 055・223・1350

第29回富士河口湖町住民ゴルフ会参加者募集

日時 11月8日(月)
場所 河口湖カントリークラブ
対象者 町内在住者
費用 10000円(税・諸経費・昼食含む)
 但し、2B(バック)は追加料金2100円、
 3B(バック)は追加料金 525円
申込期間 10月14日(木)から11月1日(月)まで
 (既定組数になり次第締め切り)
 ※申込用紙は役場総務課にあります
問合せ先 役場2階総務課船津財産区事務局
 TEL 72・1112

第12回河口湖サッカーカーニバル参加者募集

開催日 10月31日(日) 雨天中止
場所 河口湖サッカー場(サブコート・芝生)

参加資格
 高校生以上の町民又は町内にお勤めの方で構
 成されたチーム
費用 3000円(1チーム)
競技方法 ○コート、ゴールは少年用 ○8人制
 ○20分ハーフ ○各チーム帯同審判制を併用
申込期間 10月26日(火)まで
その他 ビブス使用可。健康診断を受け傷害
 保険に加入すること。
問合せ・申込先 町民体育館 TEL 73・1220

講演会のお知らせ

く食生活でからだどこころかわるく
家族みんなで食育について考えよう
日時 10月23日(土) 午前10時から
場所 勝山ふれあいセンターさくやホール
講師 山梨学院短期大学
 食物栄養科 深澤早苗氏
講演テーマ
 「楽しく食べる子どもに
 く大切な生活リズムと食事く」
問合せ先 富士河口湖町男女共同参画推進委員会
 町役場企画課内 TEL 72・1129

健康科学大学からのお知らせ

第5回オープンキャンパス(蒼麓祭同時開催)
テーマ 「大学の雰囲気を楽しもう！」
日程 10月10日(日)
 午前10時30分～午後3時30分
内容
 ○各学科展示・体験コーナー、各種ステージ発表、
 模擬店など大学祭をお楽しみいただけます。
 ○教職員による各学科・入試全般の個別説明・
 相談
問合せ先 健康科学大学 入試広報課
 TEL 0555・83・5240

◇公開講義案内「リハビリテーション特別講義」

第2回講義
日程 10月13日(水) 午後1時～4時

講師 NPO法人「やまぼうし」理事長
 伊藤勲氏
内容 地域を基盤として障害者の生活を支
 えるための諸問題を中心に紹介
第3回講義

日程 10月20日(水) 午後1時～4時
講師 ボランティアグループ「すずの会」
 代表鈴木恵子氏
内容 「世話やき」近所力「人ネット」で住
 民参加型の多彩な取り組みを、具体例で紹介
問合せ先 健康科学大学 教務・学生課
 TEL 0555・83・5220

町民講座「認知症ってどういう事？」

く理解しあって共に生きるく
 地域にお住まいの方、高齢者と同居されてい
 る家族の方、福祉に携わっている方、日頃デイ
 サービスを利用されている家族の方のご参加を
 お待ちしております。
日時 10月17日(日)
 午後1時30分～3時30分
場所 中央公民館 **参加料** 無料
内容 演劇「認知症高齢者の接し方」
 紙芝居「ずっと一緒だよ」
 介護保険についての説明など
問合せ先 デイサービスたんぼぼ
 TEL 73・3511

**帝京学園短期大学
 人形劇とオペレッタのご案内**

日時 11月30日(火) 午前11時～12時30分
 午後2時～3時30分
場所 県民文化ホール(小ホール)
内容 人形劇「花さかじいさん」
 オペレッタ「長くつをはいたねこ」
費用 無料
問合せ先 帝京学園短期大学 藤巻・三井
 TEL 0551・36・2249



第3回富士山エコトレッキング募集

「富士山にゴミを持ちこまない、捨てない、気づいたゴミは拾う」という趣旨のもと、富士山麓の自然・歴史に関する解説を聞きながら散策し、清掃活動を行います。

今回は紅葉に彩られた青木ヶ原樹海を散策し、美しい植生とハノラマ台の眺望を一望頂きます。

- 日時 10月24日(日) 午前8時20分〜
- 場所 富士ビジターセンター集合
- 募集 40名 ■参加費 1000円
- 申込先 富士山ボランティアセンター
TEL 20・9229 富士ビジターセンター内

マリリア国際幼稚園

平成23年度入園願書受付のお知らせ

幼稚園は子供が始めて出会う学校です。

- 願書受付 11月1日から12月末まで
- 対象児童 三歳児 25名 四歳児 3名
- 願書配布 月々金曜日・午後6時まで
土曜日午前中(要事前連絡)
- 説明会 火・木曜日 午前10時から正午まで
※その他 1クラス2名が担当、英語教育、カリキュラム、給食、送迎、年間行事等、体験入園可
- 問合せ先 マリア国際幼稚園 TEL 72・5522

シルバー人材センター植木管理技能講習会

植木管理の基本知識・道具の使い方、安全管理、整枝、剪定の方法と緑地管理に必要な機械器具の安全な取扱方法を学びます。

- 日時 11月9日(火)〜26日(金)(土・日・月と祝日を除く10日間、午前10時〜午後3時)
- 会場 人材開発センター(富士Cam (富士吉田市))
- 対象者 60歳台前半層中心で働く意欲のある方
- 受講料 無料 ■定員 20名

■申込締切 10月26日(火)

●申込・問合せ

(社)富士五湖広域シルバー人材センター連合会
TEL 055・228・8383

富士吉田共同高等職業訓練校

■秋の松と庭木手入れ教室

- 日時 10月16・17日 午前8時〜午後5時
- 定員 20名 ■受講料 5000円
- 持ち物 手バサミ・刈込みバサミ・お弁当・ヘルメット・筆記用具

●申込先

富士吉田職業訓練協会
(TEL 22・5214)



県立産業技術短期大学校「在職者訓練」

〜在職者訓練のおしらせ〜

- 職場における人間力向上
11月8日・9日、午前9時〜午後4時
受講料2100円
- エクセル基礎教室
11月11日〜計6日間、午後6時〜9時
受講料2100円
- エクセル応用教室
11月25日〜計6日間、午後6時〜9時
受講料2100円

●問合せ先 県立産業技術短期大学校

TEL 0553・32・5202

小学3年生から高校生のための 冬休み海外派遣 参加者募集

国際青少年研修協会では体験を通してお互いの理解や交流を深め国際性を養うことを目的に海外派遣事業を行っています。

- 日程 12月25日〜1月2日 7〜8日間
- 内容 ホームステイ、ボランティア、国際

交流、学校体験、地域見学、野外活動など
派遣先 オーストラリア、カンボジア、サイパン、フィジー

■費用 19・8万〜36・8万円

●問合せ先 文部科学省所管
(財)国際青少年研修協会

TEL 03・6459・4661

Email: info@kskk.or.jp

URL: www.kskk.or.jp

富士急経済講演会のお知らせ

■日時 10月30日(土) 午後2時開演

■場所 忍野村民ふれあいホール

■講師 櫻井よしこ氏

■演題 この国の行方―今後の政治経済状況
※当日出席の方に、抽選でサイン入り著作本を
進呈

●問合せ先 富士急経済講演会事務局

TEL 0555・227111

NHK学園受講者募集のお知らせ

NHK学園には、趣味・教養から語学・資格まで、幅広いジャンルの講座が200コース以上あります。通信講座で新しい趣味・スキルを身に付けてみませんか。無料の案内書をお気軽にご請求下さい。

■主な講座 俳句、川柳、書道、ペン字、写経、水彩画、絵手紙、写真、自分史、古文書、漢方薬膳、ハーブ、折り紙、ハンゲル、中国語、簿記など

■受講期間 3ヶ月から1年

■募集対象 一般(年齢制限なし)

■申込方法 案内書を電話、FAX、ホームページから請求

■受付期間 通年申込受付

●問合せ先 NHK学園

TEL 042・572・3151

案内書請求

TEL 0120・06・8881



町役場エントランスホールからのお知らせ
 ～第7回富士山麓の大自然写真展～

「夜の富士山と夜の綺麗な星座たち」
 自然界の中では星（星座）の輝きは重要な位置に属しています。星が動いている写真の中で二頭のムササビが追いかけてくる姿や、河口湖美術館の池で源氏蛍が飛ぶ姿などを見ていただきます。

- 日 程 10月22日～11月26日（土・日曜日・祝日を除く 午前9時～午後5時）
- 場 所 町役場エントランスホール
- 自然写真家 外川英樹氏
- 町役場企画課 TEL 72・1129

※同時開催「2010富士山麓からの贈り物」
 富士河口湖町の四季を通して、大自然の中の自然動物写真展を開催します。

- 日 程 10月1日～12月31日（木曜日を除く 午前9時30分～午後4時30分）
- 場 所 西湖野鳥の森公園フォトギャラリー

富士五湖青年会議所「講演会」

- 「PRONGGO」論語に学ぶ
 リーダーシップと経営環境」
- 日 時 10月8日（金） 午後7時～
- 会 場 中央公民館 ■参加費 無料
- 申込・問合先 （社）富士五湖青年会議所
 愛PROJECT委員会
 TEL 090・3683・3215 小澤



〔教育委員会 文化振興局からのお知らせ〕

梶原林作基金について、平成22年度助成希望の申請追加受付を行います。（若干名）

「梶原林作基金」とは、富士河口湖町地域づくりのために、町民の皆さん、または町に縁のある個人及び団体が行う地域づくり事業に対し、助成を行う制度です。対象となる事業は以下の通りです。
 ※平成22年4月1日から平成23年3月31日までの間に行われる事業が対象です。

地域の文化振興に資する事業	文化芸術の創作及び成果の発表等
活力ある地域づくりのための事業	個性豊かで魅力ある地域づくりのための事業

受付期間 平成22年10月11日（月）から10月25日（月）まで（期日厳守）

助成までの流れ



申請方法

指定の申請書に必要事項を記入し、町教育委員会文化振興局（河口湖ステラシアター内）まで直接お持ち下さい。（郵便、その他の方法では受付できませんので、ご了承下さい。）
 ※申請書は町教育委員会文化振興局（河口湖ステラシアター内）にございます。ご希望の方はお問い合わせください。また、町役場ホームページからも、ダウンロードができます。

お知らせ

本年度の事業助成は今回で終了です。

お問合せ先

町教育委員会 文化振興局（河口湖ステラシアター内） 72-5588（火曜日休館）



富士山河口湖音楽祭2010

河口湖ステラシアター、円形ホールなどを舞台に盛大に開催されました富士山河口湖音楽祭を写真で振り返ります。国際的指揮者の佐渡裕さんが監修するこの音楽祭は、地域の住民のボランティアスタッフが中心となって実行委員会を主催し、多くの住民参加型の企画を行うことにより、学生のトップクラスの演奏やプロの演奏が町中にあふれ、音楽をより身近に楽しめるイベントとなりました。



オープニングコンサート
上野原高等学校吹奏楽部
～ステラシアター～



ハーモニーコンサート
ふじ山麓児童合唱団
～ステラシアター～



奥村愛 子どもたちと一緒に
ミニミニコンサート
～円形ホール～



森のミニコンサート
オマタタソウ
～森の音楽堂～



西江辰郎&坂野伊都子
ミニ音楽会
～河口湖美術館～



スーパーキッズ・オーケストラ
コンサート
～ステラシアター～



佐渡裕&シエナ・ウインド・オーケストラコンサート
～ステラシアター～



ふれあいコンサート
富士北麓高校生特別合唱団
～河口湖ショッピングセンターBELL～